

目次

作品

(1) 収集	1
(2) 展示	2
(3) 貸出	3

展覧会

(1) 企画展 アーティスト in 湘南 萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち	4
(2) 企画展 開館 25 周年記念 北海道立近代美術館所蔵名品展 華麗なるガラス工芸の世界	5
(3) 企画展 開館 25 周年記念 不思議なアート トリック トリック ハッ!とトリック	7
(4) 企画展 アーティスト in 湘南 田澤茂と石井礼子	9
(5) 企画展 開館 25 周年記念 香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治 - シベリアシリーズ・原爆の図・地図	11
(6) 企画展 アーティスト in 湘南 創画会ゆかりの画家たち	13
(7) 特集展 ロビー展 黒川弘毅の彫刻	15
(8) 特集展 冬の所蔵品展 私のくらしを彩る絵	16
(9) 特集展 東京都現代美術館コレクション 近代日本画名品展	17

教育普及

(1) 一般向け・子ども向けプログラム	19
(2) スクールプログラム	21
(3) アートカードの貸出	22
(4) 対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)	23

その他の事業

(1) 事業	26
(2) 団体向け研修・体験プログラム	28
(3) 博物館実習および職場体験受け入れ	29
(4) 定例会議	29
(5) その他	29

施設利用者等の統計

(1) 展覧会	30
(2) 貸出施設	30

施設の管理

(1) 防災訓練	32
----------	----

作品

(1) 収集

寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法材料
1	大沢昌助	スタートライン	1964年	131.0×194.5	油彩・キャンバス
2	大沢昌助	紫の座像	1973年	101.0×80.5	油彩・キャンバス
3	大沢昌助	裸婦	1973年	68.2×53.0	リトグラフ・紙
4	大沢昌助	顔	1973年	63.0×50.5	リトグラフ・紙
5	大沢昌助	そよかぜ	1991年	41.9×32.6	シルクスクリーン・紙
6	大沢昌助	ながれ	1991年	41.9×32.6	シルクスクリーン・紙
7	大沢昌助	ゆらぎ	1991年	32.6×41.9	シルクスクリーン・紙
8	大沢昌助	早い朝	1991年	32.6×41.9	シルクスクリーン・紙
9	大沢昌助	つどい	1994年	32.6×41.9	銅版・紙
10	倉橋利明	Wibble Wobble 2016 -Irregular-scene1	2016年	178.0×86.0	赤麻紙、白麻紙、WT紙、 アクリル、墨、彩三水
11	佐藤泰生	午後の女達	1983年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
12	佐藤泰生	旭日 富士と波濤	2013年	194.0×112.0	油彩・キャンバス
13	田澤茂	仮面童子	1983年	131.0×163.0	油彩・キャンバス
14	田澤茂	百鬼夜行	1998年	194.0×162.0	油彩・キャンバス
15	田澤茂	日本人の神々	2013年	163.0×131.0	油彩・キャンバス
16	平澤重信	時の待ち合わせ場所	2005年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
17	平澤重信	時の間	2006年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
18	平澤重信	時の苑	2007年	162.0×130.3	油彩・キャンバス
19	福田美蘭	水墨山水	1994年	183.0×60.0	墨・絹
20	福田美蘭	旭日静波	1994年	196.0×59.0	彩色・絹
21	福田美蘭	遊鯉	1994年	190.0×60.0	彩色・絹
22	福田美蘭	絵画の洗浄	1994年	113.0×102.0	油彩、アクリル絵具・キャン バス
23	福田美蘭	聖ゲオルギウス	2010年	227.2×181.8	アクリル絵具・キャンバス
24	福田美蘭	紅白芙蓉図	2012年	181.8×227.2	アクリル絵具・キャンバス
25	福田美蘭	見返り美人 鏡面群像図	2016年	181.8×227.2	アクリル絵具、キャンバス
26	藤山ハン	ポスト考	1979年	77.0×107.5	油彩、鉛筆・板に紙
27	藤山ハン	雷に打たれし裸木	2015年	103.0×69.5	柿渋、墨、油彩・布に紙
28	前田哲明	Untitled14-M10	2014年	16.5×26.0×51.5	鉄
29	前田哲明	Untitled14-M11	2014年	15.0×30.5×57.0	鉄
30	前田哲明	Untitled 05-MA	2005年	23.0×26.0×37.0	ステンレス
31	前田哲明	Untitled14LD-a5	2014年	55.3×75.1	リトグラフ・紙
32	前田哲明	Untitled14LD-e3	2014年	75.1×55.3	リトグラフ・紙
33	前田哲明	Untitled14LD-fl	2014年	55.3×150.2	リトグラフ・紙
	計 33 点				

寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法材料
1	工藤甲人	華園天色	2002 年頃	52.7×71.5	彩色・紙
2	高村光太郎	静物 - 瓶とコップ	1914 年	32.3×22.8	油彩・板
3	永瀬義郎	裸婦	1922 年	30.3×26.5	木版・紙
4	秦テルヲ	双鶏	不詳	129.0×29.0	彩色・紙
5	秦テルヲ	木	1929 年頃	32.8×23.0	彩色・紙
6	安田鞞彦	萬葉秀歌	1968 年頃	60.0×14.7	墨・紙
7	萬鉄五郎	不詳	不詳	33.2×23.5	墨・紙
8	木村荘八	くもり日の新緑	1915 年	50.0×60.6	油彩・キャンバス
	計 8 点				

(2) 展示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	アーティスト in 湘南 萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち	74 点	53 点	21 点
2	企画展	開館 25 周年記念 北海道立近代美術館所蔵名品展 華麗なるガラス工芸の世界 - ヴェネツィアから現代まで	122 点	0 点	122 点
3	企画展	開館 25 周年記念 不思議なアート トリック トリック ハッ! とトリック	83 点	1 点	82 点
4	企画展	アーティスト in 湘南 田澤茂と石井礼子	58 点	5 点	53 点
5	企画展	開館 25 周年記念 香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治	194 点	0 点	194 点
6	企画展	アーティスト in 湘南 創画会ゆかりの画家たち	40 点	31 点	9 点
7	ロビー展	黒川弘毅の彫刻	32 点	2 点	30 点
8	特集展	私の暮らしを彩る絵	57 点	57 点	0 点
9	特集展	東京都現代美術館コレクション 近代日本画名品展	32 点	0 点	32 点
		計	692 点	149 点	543 点

(3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	柏市民ギャラリー	「摘水軒記念文化振興財団所蔵 作品展」 5月14日～6月16日	1点	岡本秋暉「波に鯉鳥図」(寄託作品)
2	秋田県立美術館	「異界をひらく 百鬼夜行と現代アート」 7月16日～9月4日	6点	石田徹也「不安な夢」「囚人」「起床」 「深海魚」「転移」、 三瀬夏之介「空虚五度」(寄託作品)
3	群馬県立館林美術館、 静岡県立美術館、 三重県立美術館	「再発見！ニッポンの立体」 7月16日～9月19日、 11月15日～2017年1月9日、 1月24日～4月9日	5点	平櫛田中「灰袋子」、 横田七郎「めざし」「静物」「栗」「栗」
4	白山市立松任中川一政 記念美術館	「没後25年中川一政展」 9月10日～11月27日	3点	中川一政「椅子の少女」「椅子の女」 「薔薇」
5	練馬区立美術館	「朝井閑右衛門展」 9月18日～11月13日	2点	朝井閑右衛門「廃園に於て」 「悪霊と道化」
6	佐野美術館	「横山大観 大気を描く」 10月1日～11月6日	1点	横山大観「不盡之高嶺」
7	鳥取県立博物館、 埼玉県立近代美術館、 高知県立美術館	「日本におけるキュビズム ピカソ・インパクト」 10月1日～11月13日、 11月23日～2017年1月29日、 2月12日～3月26日	1点	井上三綱「駆けだした牛」
8	飯田市美術博物館、 福井県立美術館、 弥彦村コミュニティー センター、 東京都美術館、 京都市美術館別館、 松坂屋美術館、 秋野不矩美術館	「創画会70周年記念展」 2017年3月18日～5月7日、 5月10日～5月24日、 6月3日～7月9日、 7月22日～8月27日、 10月24日～10月30日、 11月7日～11月12日、 12月6日～12月17日、 2018年1月20日～3月25日	2点	工藤甲人「残蝶」「海のおとしご」 (寄託作品)
計			21点	

展覧会

平成 28 年度 展覧会

(1) 企画展 アーティスト in 湘南 萬鉄五郎 × 岸田劉生 その仲間たち

種 別	企画展
会 期	4月16日(土)～6月12日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
観覧者数	7,409人
担 当	安部沙耶香(当館学芸員)



岸田劉生《童女図(麗子立像)》1923年、神奈川県立近代美術館



萬鉄五郎《宙腰の人》1924年、当館蔵

内容

日本の近代美術を語るうえで欠かすことのできない萬鉄五郎と岸田劉生にスポットを当てます。この二人と、彼らに影響を受け、ともに活動を続けた画家たちをご紹介します。

湘南地方は明治期に別荘地や療養地として知られ、独特の文化が生まれました。大正期に萬や劉生が転地療養のためやってくると、彼らを慕う画家たちも集うようになります。本展では、「序章」としてフェウザン会までの萬と劉生を取り上げました。そして、「岸田劉生とその仲間たち」では、草土社の仲間である木村莊八、中川一政、河野通勢、椿貞雄、「萬鉄五郎とその仲間たち」では、藤沢中学校(現・藤嶺学園藤沢高等学校)の同窓生である鳥海青児、森田勝、原精一を取り上げました。彼らの作品を通して、大正期から戦前までの湘南の地で生まれた日本近代洋画の展開を検証するものです。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月11日(土) 各回 11:00～11:30

参加者数：20人、35人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(2) 企画展 開館 25 周年記念

北海道立近代美術館所蔵名品展 華麗なるガラス工芸の世界

- ヴェネツィアから現代まで

種別	企画展
会期	4月23日(土)～6月19日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	北海道立近代美術館
協賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	7,436人
担当	江口恒明(当館学芸員)



エミール・ガレ《昆虫文双耳花器》 1880年代



ドーム《鶯に睡蓮文三耳花器》 1884 年頃

内容

ガラス制作の発祥は、4千年前とも5千年前ともいわれます。その輝きと豊かな色彩は、洋の東西を問わず人々を魅了し、建築装飾や生活の器として用いられてきました。とりわけヨーロッパにおいては、15世紀のヴェネツィアで、それまでとは比較にならない透明度の高いガラスの器が制作されました。

その後、19世紀後半のフランスで、エミール・ガレが登場し、ガラス造形に全く新しい地平が切りひらかれました。ガレは19世紀末に流行した芸術運動であるアール・ヌーヴォーを代表する芸術家であり、当時の制作技術の粋をつくして、自然をモチーフとした曲線的な表現による装飾芸術をつくりあげました。20世紀前半には工業化社会の進展を反映して、幾何学的・直線的文様を特徴とするアール・デコ様式の作品があらわれます。時を同じくして、芸術家意識が高まりはじめ、従来の工房制作から個人によるガラス芸術も発展していきます。

産業から芸術へ、工房から作家による制作へとしたいに変化していったガラス芸術は、現在、造形作品としての要素やガラスの素材そのものへの関心を強めつつ、多様化しています。本展では、近代ヨーロッパの作品を中心に、日本人作家の作品も含め、北海道立近代美術館所蔵の約120点の名品を通じて、何千年にわたって受け継がれてきた伝統とさまざまな表現をご紹介します。

関連事業

北海道立近代美術館学芸員によるギャラリートーク

日時：4月23日(土) 11:00～11:40

講師：森本陽香氏

参加者数：20人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

学芸員によるギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月5日(日) 各回 14:00～14:40

参加者数：20人、25人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「型ガラスでオブジェをつくろう」

日時：5月28日(土)、6月11日(土) 2回連続講座、各回 13:30～16:30

講師：大谷佳子氏(ガラス作家)

参加者数：18人

場所：アトリエ 要申込

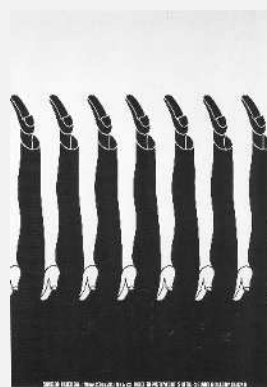
(3) 企画展 開館 25 周年記念

不思議なアート トリック トリック ハッ!と トリック

種別	企画展
会期	7月2日(土)～8月28日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	高松市美術館
協力	(株)DNPアートコミュニケーションズ
協賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 7月16日(土)～8月28日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月18日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	30,756人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》1985年



福田繁雄《Shigeo Fukuda Exhibition》1975(1987復刻)年

内容

人は五感の中でもとかく視覚に頼りがちですが、私たちの「目」は、実はとてもだまされやすいものです。遠近の関係性や上下左右を見間違えたり、目の前にあるのに見落とししたり、逆にあるはずだと思い込んでいるためにそこにはないものが見えたりと、私たちは日常的にさまざまな錯覚にとらわれています。このことに着目した作家たちは、さまざまな工夫を凝らして見る者をあざむき、楽しませる作品を作ってきました。

本展では、視覚と固定化されたイメージに揺さぶりをかける戦後の美術家たちの工夫に満ちた取り組みを「トリック」として紹介しました。人の目を惑わす手法は多岐にわたりますが、ここでは「虚と実をめぐって」「古典絵画への仕掛け」「オブ・イリュージョン」「リアリズムの諸相」という4つのキーワードにより展覧会を構成しています。美術家たちが仕掛けるさまざまなトリックをとおして、「見る」ということのおもしろさや不思議さとだまされる楽しさを体感していただきました。

関連事業

松本かなこ氏（ストリートペインター）による公開制作

期間：7月16日(土)～7月27日(水)のうち7日間

時間：10:00～16:00

場所：テーマホール

ワークショップ

「チョークで道に海の生きものを描こう!!」

日時：7月29日(金) 13:00～16:00

講師：松本かなこ氏（ストリートペインター）

参加者数：207人

場所：レストラン側入口

対象：自由参加

参加費：100円

「ジェルキャンドルにお魚を描こう!!」

日時：7月31日(日) 13:30～16:30

講師：深堀隆介氏（美術作家）

参加者数：22人

場所：アトリエ

対象：小中学生（小学校1、2年生は保護者同伴）

参加費：800円

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月10日(日)、8月7日(日) 各回14:00～14:40

参加者数：35人、55人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(4) 企画展 アーティスト in 湘南 田澤茂と石井礼子

種別	企画展
会期	7月2(土)～9月4日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 7月16日(土)～8月28日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月18日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	56日
観覧者数	25,472人
担当	江口恒明(当館学芸員)



田澤茂《太陽の街》1968年



石井礼子《私の周囲(忙しい日)》2002年

内容

湘南のアーティストを顕彰する企画展。藤沢市辻堂で長く制作した油彩画家・田澤茂(1925-2014)の画業と、田澤が主催した絵画教室で学び、藤沢で制作を続ける石井礼子(1974-)の師弟の作品を紹介しました。

青森県に生まれた田澤茂は、1948年に上京して辻堂に住み、制作を続けました。1953年には猪熊弦一郎に師事して新制作協会展に初入選し、以後、新制作協会展や個展を中心に活動します。故郷の風土に根ざし、神々や妖怪を描いたユーモアと生命力あふれる作風で知られています。

石井礼子は藤沢市に生まれ、9歳から田澤茂の絵画教室に通いはじめました。1993年に女子美術大学に入学。在学中から新制作協会展に入選し、2004年には同会の会員となり、出品を続けています。石井の作品は、和紙に割り箸と墨を用いて、身の回りの出来事を題材に私的な風景を描き出しています。

いずれも、自身の生活や体験から出発して、身体でとらえた感覚を手放さず、柔軟な発想で制作する点が通底しているように思われます。ふたりの作風は大きく異なりますが、師弟の自由闊達な作品をお楽しみいただきました。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月9日(土)、8月6日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：12人、25人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

「絵を見て発見！おしゃべり美術館」

対話による美術鑑賞ボランティア「ひらびあーつま～れ」のメンバーと一緒におしゃべりしながら作品を鑑賞します。

日時：7月26日(火)以降の毎週火曜日 各回 11:00～12:00

対象：小学生（保護者参加可） 申込不要、保護者は要観覧券

場所：展示室

参加者数：計95人

(5) 企画展 開館 25 周年記念 香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治
- シベリアシリーズ・原爆の図・地図 -

種 別	企画展
会 期	9月17日(土)～11月20日(日)
主 催	平塚市美術館・日本経済新聞社
特別協力	東京国立近代美術館・山口県立美術館・原爆の図丸木美術館
助 成	芸術文化振興基金
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 9月19日(月・祝)、10月10日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	10,843人
担 当	土方明司(館長代理)、勝山滋(当館学芸員)



香月泰男《点呼(左)》1971年 山口県立美術館蔵



川田喜久治《日の丸》1962年 東京都写真美術館蔵
KIKUJI KAWADA



丸木位里・俊《原爆の図 第一部 幽霊》1950年 原爆の図丸木美術館蔵

内容

開館 25 周年を記念し、香月泰男と丸木位里・俊、川田喜久治の三つの連作による展覧会を開催いたしました。香月泰男(1911～1974)は山口県生まれの洋画家です。国画会同人としての活躍をへて応召、終戦後シベリアに抑留された経験をもとにした<シベリア・シリーズ>に独自の画風を築きました。

丸木位里(1901～1995)は広島県に生まれ、青龍社展初入選後、美術文化協会に参加。1939年に赤松俊子(1912～2000)と結婚し、妻とともに広島原爆投下の惨状を取材し、ライフワークとなった<原爆の図>を制作しました。

川田喜久治(1933～)は茨城県土浦市に生まれ、高校時代から写真を撮り始め、土門拳が選者であった『カメラ』に応募、入賞ののち新潮社でグラビアやポートレート撮影担当をへて、フリーランスとして写真エージェンシー「VIVO」を結成。心理的、象徴的な喚起力を重視した表現による「地図」連作を発表。写真を通して「戦争」や「人間」を探り出していく試みが高く評価され、世界的な写真家として活躍しています。洋画、日本画、写真という異なる手法によって表現された、三様の戦争に対するまなざしをご堪能いただきました。

関連事業

講演会

日時：10月10日(月・祝) 14:00～15:00

講師：小栗康平氏(映画監督)

参加者数：91人

場所：ミュージアムホール 申込不要

映画「FOUJITA」上映

日時：10月15日(土) 10:00～12:00、13:30～15:30

参加者数：173人

場所：ミュージアムホール 要申込

対談「写真家・川田喜久治氏に聞く」

日時：10月29日(土) 14:00～15:30

参加者数：117人

場所：ミュージアムホール 申込不要

学芸員によるギャラリートーク

日時：9月24日(土)、10月8日(土)、11月5日(土) 各回14:00～15:00

参加者数：20人、40人、40人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

関連映像放映：「WATCH 原爆の図とアメリカ」

場所：ミュージアムホール

(6) 企画展 アーティスト in 湘南 創画会ゆかりの画家たち

種別	企画展
会期	9月24日(土)～11月27日(日)
主催	平塚市美術館
助成	公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 10月10日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	56日
観覧者数	9,135人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



加山又造《冬》1957年 東京国立近代美術館蔵
展示期間10月25日～11月27日



近藤弘明《遊魂華園》1976年 東京都現代美術館蔵

内容

湘南地域は、温暖な気候や交通の利便性により近代以降多くの芸術家が移り住みました。戦後は山本丘人や工藤甲人ら創画会の中心的な画家が居を構え、旺盛な制作活動を展開します。

創画会のルーツは、戦後まもない1948年にさかのぼります。敗戦により既存の美的価値観が揺らぐ中で、日本画存亡の危機感を背景に東京と京都の若手の画家たちによって組織されたのが在野の美術団体・創造美術でした。西洋の近代、同時代美術を参照しながら新しい日本画の創出を目指した同団体は、新制作協会日本画部を経て、1974年に創画会へと体制を変更しながらも、一貫して在野の立場を保ちつつ日本画の新傾向をリードして、その存在感を示しています。

湘南の創画会ゆかりの画家として本展で取り上げるのは、創造美術設立時からの中心作家・山本丘人(1900-1986)、第二世代の工藤甲人(1915-2011)、堀文子(1918生)、近藤弘明(1924-2015)、加山又造(1927-2004)、第三世代の伊藤彬(1940生)、中野嘉之(1946生)、内田あぐり(1949生)、山本直彰(1950生)のほか、第四世代の斉藤典彦(1957生)です。

現在活躍中の画家たちは、既に創画会を退会し、各自の道を歩んでいますが、その進取果敢な制作は、創画会の日本画革新の精神を受け継いでいます。

本展では、創設以来約70年にわたり日本画を牽引してきた湘南ゆかりの創画会10人の画家たちの作品40点により、時代のうつろいとともに変化し続ける日本画のありようをご紹介します。

関連事業

アーティストトーク

日時：10月1日(土) 14:00～15:00

講師：山本直彰氏(武蔵野美術大学特任教授)

参加者数：30人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

日時：11月12日(土) 14:00～15:00

講師：斉藤典彦氏(東京芸術大学教授)

参加者数：40人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

日時：11月20日(日) 14:00～15:00

講師：内田あぐり氏(武蔵野美術大学教授)

参加者数：55人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月22日(土)、11月19日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：16人、30人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(7) 特集展 ロビー展 黒川弘毅の彫刻

種別	特集展
会期	12月3日(土)～2017年4月9日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休館日	月曜日 1月9日(月・祝)、3月20日(月・祝)は開館、翌火曜日休館 年末年始(12月29日(木)～1月3日(火))
観覧料	無料
開催日数	105日
観覧者数	7,904人
担当	勝山滋(当館学芸員)



黒川弘毅《EROS72》2009年 当館蔵



黒川弘毅個展会場(2016年)

撮影:末正真礼生 提供:コバヤシ画廊

内容

彫刻家、黒川弘毅(くろかわひろたけ)の《EROS》(エロース)シリーズのブロンズ作品群によるロビー展を開催中です。黒川弘毅は1952年東京生まれ。東京造形大学彫刻専攻をへて、1980年以降個展などを中心に発表し、1991年文化庁在外派遣研修員としてイタリアに滞在。現在東京で活躍しています。

人体のようなかたちを表す作品は、人影の輪郭をなぞって鋳型の砂を掘り、そこにブロンズを流し込んで鋳造することで作られます。あらかじめ作った原型を複製する鋳造方法でなく、金属の量塊がメディウムとなって人のかたちとして生成する手法が追求されています。「エロース」とは、古代ギリシャで神と人間の橋渡しをする神霊にちなんで命名されたもので、新たなものとして常に見出されるべき美の姿を象徴しています。これまでに90点以上制作されている同シリーズのなかから32点を展示しています。

平塚市美術館の「ロビー展」は2006年12月にはじまり、今回で10回目となります。外光の降り注ぐ高さ11メートルの空間を舞台に、冬季実質100日以上のお会期となる観覧無料の展示となります。

関連事業

アーティストトーク

日時:12月4日(日) 11:00～11:30、3月5日(日) 14:00～14:30

参加者数:16人、21人

場所:テーマホール 申込不要

ワークショップ「ロストワックス鋳造で作品を作ろう!!」

日時:3月4日(土) 10:30～16:30

参加者数:9人

場所:アトリエ

(8) 特集展 冬の所蔵品展 私の暮らしを彩る絵

種 別	特集展
会 期	12月10日(土)～2017年1月29日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 1月9日(月・祝)、3月20日(月・祝)は開館、翌火曜日休館 年末年始(12月29日(木)～1月3日(火))
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	39日
観覧者数	2,296人
担 当	江口恒明(当館学芸員)



松本節《室内》1930年 当館蔵



森田勝《柿》1942年 当館蔵

内容

近代以降、絵画に対するさまざまな考え方が生まれ、必ずしも現実の再現性に重きをおかない、抽象的な表現や夢の中を描く表現もあらわれました。とりわけ、日本においては、従来の画材とは全く異なる油絵が明治以降本格的に流入し、描く方法も対象も大きく変化したといえます。

その一方、芸術家が目を向けるものの中には、なじみの風景や日常の出来事、身の回りの小さな発見など、古今変わることなく選ばれ続けてきた対象もあります。冬の所蔵品展では、画家が日々の暮らしの中の出来事から描き起こした作品を紹介します。それは、画家の住むすぐそばの景色や心象の風景であり、身近な人物あるいは家の中のものをじっと見つめて描いたものなどです。

1920～30年代の戦前の作品では、社会の近代化にともない、人々のあこがれとなった都市の生活が多数描かれました。その後、現代に近づくほど、より個人的な体験として描かれるようになります。

いずれも、ありふれた日常を手掛かりにしながら、鋭い感性があらわれているように思われます。思いもよらない世界の広がりや画面に定着させた作品をご鑑賞ください。

また、これに加えて、2015年に新たに収蔵された作品を展示するコーナーを設けて紹介しました。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：1月21日(土) 14:00～14:30

参加者数：15人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(9) 特集展 東京都現代美術館コレクション 近代日本画名品展

種 別	特集展
会 期	2017年3月4日(土)～4月9日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 3月20日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	32日
観覧者数	3,261人
担 当	江口恒明(当館学芸員)



横山操《巴里郊外》1965年 東京都現代美術館蔵



高山辰雄《行人》1969年 東京都現代美術館蔵

内容

東京都現代美術館は、国内外のさまざまな現代美術の展覧会を開催し、4000点余の作品を所蔵する日本有数の美術館です。同館のコレクションには、現代の美術以外にも、戦前戦後の日本美術を代表する作品も多数含まれています。本展では、東京都現代美術館の所蔵作品のうち、近代から現代に至る日本画の名品を紹介いたします。

明治大正期から戦前の日本画壇には、岡倉天心が主導して1898年に結成された日本美術院(院展)と、1907年に開設された文部省美術展覧会(文展)のふたつの大きな団体がありました。

大正・昭和初期になると、これに対抗する形で新しい表現を模索する画家たちが登場します。1918年、京都において土田麦僊・村上華岳らが国画創作協会を結成しました。また、東京では、1928年に院展を脱退した川端龍子が「健剛なる芸術」を唱えて青龍社をつくり、その中から落合朗風・横山操ら異色の作家が生まれました。また、第二次世界大戦が終わると、パンリアルや創造美術など、従来の伝統的な表現によらない革新的な日本画をめざす運動があらわれました。

近代の日本画は、長い伝統の中であって、常に革新的な表現を模索してきました。本展では、東京都現代美術館のコレクションを通じて、そうした日本画表現の革新と創造の一端をご覧いただけます。ふだんに触れる機会の少ない、同館の近代日本画コレクションをお楽しみいただければ幸いです。

関連事業

絵を見て発見！春のおしゃべり美術館

対話による美術鑑賞ボランティア「ひらびあーつま〜れ」のメンバーと一緒におしゃべりしながら作品を鑑賞します。

日時：毎週火曜日 各回 11:00～12:00

参加者数：計 30 人

場所：展示室

対象：6 歳～一般 高校生以上は要観覧券

親子鑑賞サポートタイム

親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。

日時：3月10日(金) 10:00～11:00

参加者数：12 人

場所：展示室、ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 保護者は要観覧券

学芸員によるギャラリートーク

日時：3月19日(日) 14:00～14:40

参加者数：18 人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

教育普及

平成 28 年度実施プログラム

(1) 一般向け・子ども向けプログラム

33 プログラムを実施。1,580 人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師名	実施日	材料費	対象	参加者数
1	体験アートセラピー 親子でパステルアート 笑顔のカードを作ろう	福山恵美子 (アートセラピスト)	4月9日(土)	200円	親子(小・中学生)	9組19人
2	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 春(連 続講座)	富田めぐみ(NPO 法人赤ち ゃんからのアートフレン ドシップ協会 代表理事)	4月14日(木) 5月12日(木) 6月9日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月の未 就園児)	25組50人
3	チョークで道にお花を 咲かせよう!!	松本かなこ (ストリートペインター)	4月23日(土)	1,000円	小学生	13人
4	バックヤードツアー ~美術館の地震対策を 考える~	当館学芸員(勝山滋)	5月7日(土)	なし	一般	14人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いて みよう 一般の部	滝波重人、河野孝博 (東海大学教授)、岡端美 香(東海大学大学院生)	6月4日(土)	500円	18歳~一般	18人
6	型ガラスでオブジェを 作ろう!!(連続講座)	大谷佳子(ガラス作家)	5月28日(土) 6月11日(土)	2,000円	中学生~一般	18人
7	おうちの窓を天の川に しよう! 星とカササギの七夕モ ビール作り(連続講座)	依田梓(美術作家)	6月25日(土)	500円	親子(小・中学 生)	9組17人
8	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏 (連続講座)	富田めぐみ(NPO 法人赤ち ゃんからのアートフレン ドシップ協会 代表理事)	7月7日(木) 8月4日(木) 9月8日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月の未 就園児)	25組49人
9	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子 (アートセラピスト)	7月9日(土)	200円	親子(小・中学 生)	10組20人
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士6名	7月23日(土)	なし	親子(0~6歳 の未就学児)	85組174人
11	チョークで道に海の生 き物を描こう!!	松本かなこ (ストリートペインター)	7月29日(金)	100円	3歳~一般	207人
12	ジェルキャンドルにお 魚を描こう!!	深堀隆介(金魚絵師)	7月31日(日)	800円	小・中学生	22人
13	中高生ボランティアと 工作をしよう! 缶バッジ・プラバン作り ワークショップ	中学生高校生ボランティア 20名	8月5日(金) 8月6日(土) 8月7日(日)	50円	3歳~一般	450人
14	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士7名	8月20日(土)	なし	親子(0~6歳 の未就学児)	65組123人

15	元気にのびのび キッズアート (連続講座)	富田めぐみ(NPO 法人赤 ちゃんからのアートフレ ンドシップ協会 代表理事)	10月6日(木) 11月10日(木) 12月1日(木)	500円	親子(2歳6ヶ 月~4歳の保 育園・幼稚園 に通っていな いおさんと 保護者)	27組53人
16	体験アートセラピー 塗り絵でリフレッシュ!	福山恵美子 (アートセラピスト)	10月8日(土)	200円	中学生~一般	13人
17	東海大学協働事業 東海大学のお姉さんと 遊ぼう! スタンプポンポン! クイズでワイワイ!	東海大学インターン生 5名	10月16日(日)	100円	親子(小学生)	6組9人
18	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫 刻作品を描いてみよう 中学・高校生の部	吉村維元、仙石朋子 (東海大学)、岡端美香(東 海大学大学院生)	10月23日(日)	なし	中・高校生	10人
19	子どもの油絵教室	山中まんぼう (アーティスト)他2名	11月12日(土)	1,500円	小・中学生	18人
20	みんなの光るどろだんご	岩月真由子(土の美術家)	11月19日(土)	1,000円	小・中学生	20人
21	子ども向け バックヤードツアー	当館学芸員(江口恒明)	11月26日(土)	なし	親子(小・中学 生)	11人
22	銅版画講座 メゾチントでつくるク リスマスカード	城戸宏(版画工房主宰)	12月4日(日)	2,100円	一般	5人
23	キッズ鑑賞ツアー 冬	富田めぐみ(NPO 法人赤 ちゃんからのアートフレ ンドシップ協会 代表理事)	1月7日(土)	なし	親子(0歳~未 就園児)	9組18人
24	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬 (連続講座)	富田めぐみ(NPO 法人赤 ちゃんからのアートフレ ンドシップ協会 代表理事)	1月12日(木) 2月2日(木) 3月2日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月)	28組55人
25	0才からの鑑賞ツアー 冬	富田めぐみ(NPO 法人赤 ちゃんからのアートフレ ンドシップ協会 代表理事)	1月13日(金)	なし	親子(0~2歳)	15組32人
26	銅版画講座 エッチング&アクアチ ントに挑戦!! (連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	1月15日(日) 1月29日(日)	1,300円	中学生~一般	13人
27	陶芸講座	尾形隆昭(陶芸家)	2月5日(日) 2月19日(日) 3月12日(日)	1,000円	中学生~一般	20人
28	ロビー展関連事業 ロストワックス鑄造で 作品を作ろう	黒川弘毅(彫刻家)	3月4日(土)	2,500円	15歳~一般	9人

29	鑄造ガラスでオブジェを作ろう(連続講座)	大谷佳子(ガラス作家)	3月11日(土) 3月18日(土)	3,000円	中学生～一般	13人
30	0才からの鑑賞ツアー春	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	3月12日(日)	なし	親子(0～2歳)	14組40人
31	キッズ鑑賞ツアー 春	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	3月16日(木)	なし	親子(0歳～未就園児)	13組25人
32	体験アートセラピー 優しいパステルを使ってお腹の赤ちゃんと一緒に絵を描きましょう	福山恵美子 (アートセラピスト)	3月25日(土)	200円	現在ご妊娠中の方(ご夫婦での参加可)	8人
33	東海大学連携事業 東海大学のお姉さんと一緒に作品を鑑賞しよう!レンジでアートをとじこめよう	東海大学芸術学科 インターン生 4名	3月26日(日)	100円	親子(小学生)	6組14人
計						1,580人

(2) スクールプログラム

19プログラムを実施。488人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師名	実施日	材料費	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞広場 ～華麗なるガラス工芸の世界～	当館学芸員	5月8日(日)	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	3人
2	伊勢原市小学校教育研究会 図工部会研修	当館学芸員	7月28日(木)	なし	伊勢原市小学校教育研究会 図工部会の教員	15人
3	先生のための美術館賞広場 ～トリック・トリック・ハッ! と トリック展～	当館学芸員	8月2日(火)	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	7人
4	採用5年、10年経験者研修の 受け入れ	当館学芸員	8月2日(火)～7日(日)	なし	小・中・高校・特別支援学校の教員	6人
5	平塚市小学校教育研究会 図工部会研修	当館学芸員	8月3日(水)	なし	平塚市小学校教育研究会 図工部会の教員	34人
6	中高校生ボランティアと一緒に 工作をしよう! 缶バッチブラバン作りワーク ショップ・プレ	当館学芸員	8月3日(水)	なし	ボランティア参加希望者	13人
7	先生向け体験ワークショップ からくり屏風作り	清水達也、小林喜代美(表装文化伝承支援協会理事)	8月24日(水)	2,000円	小・中・高・特別支援学校の教職員	12人
8	大住中学校区三校交流研修会	当館学芸員	8月25日(木)	材料持参	岡崎小、城島小、大住中学校教員	47人

9	城島小学校 団体来館	当館嘱託員	9月9日(金)	なし	5年生1クラスの児童と引率教員	35人
10	南原保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協 会 代表理事)	10月7日(金)	なし	南原保育園、年長 組の園児と引率 教員	19人
11	吉沢保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協 会 代表理事)	10月19日(水)	なし	吉沢保育園、年長 組の園児と引率 教員	14人
12	夕陽ヶ丘保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協 会 代表理事)	10月20日(木)	なし	夕陽丘保育園、年 長組の園児と引 率教員	21人
13	花水台保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協 会 代表理事)	10月26日(水)	なし	花水台保育園、年 長組の園児と引 率教員	27人
14	平塚市適応指導教室	当館学芸員	11月2日(水)	材料 持参	平塚市適応指導教 室の児童と引率教 員	17人
15	大和市立大野小学校 団体来館	当館学芸員	11月11日(金)	なし	6年生3クラスの 児童と引率教員	94人
16	大神保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協 会 代表理事)	11月18日(金)	なし	大神保育園、年長 組の園児と引率 教員	16人
17	ワンポイント研修	当館嘱託員	1月5日(木)	なし	平塚市及び近隣 の市町村の幼・ 小・中学校の教員	23人
18	横浜市緑園東小学校 団体来館	当館嘱託員	1月18日(水)	なし	5年生2クラスの 児童と引率教員	72人
19	伊勢原市適応指導教室	当館嘱託員	2月3日(金)	材料 持参	伊勢原市適応指 導教室の児童と 引率教員	13人
計						488人

(3) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出先	1件(小学校1件)
貸出学校所在地域	伊勢原市 1件
貸出個数	12個

(4) 対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

市内小学校で実施する「対話による美術鑑賞」事業の為、ボランティア育成のための研修を実施しました。
27 講座実施。311 人

担当：勝山滋(当館学芸員)、江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

NO.	研修名	講師名	実施日	参加者数
1	1期生 実践研修 1回目	当館嘱託員	4月7日(木)	9人
2	1期生 実践研修 2回目	三ツ木紀英(ARDA)	4月21日(木)	10人
3	1期生 実践研修 3回目	当館嘱託員	5月19日(木)	8人
4	鑑賞&トーク 体験会	桑原和美(ARDA)、 アートシャベル1名	5月21日(土)	12人
5	1期生 実践研修 4回目	三ツ木紀英(ARDA)	5月26日(木)	12人
6	鑑賞&トーク 体験会	桑原和美(ARDA)、 アートシャベル1名	6月3日(金)	14人
7	1期生 実践研修 5回目	三ツ木紀英(ARDA)	6月23日(木)	9人
8	ひらびあ~つまーれ2期生 合同面接説明会	三ツ木紀英(ARDA)	7月2日(土) 7月3日(日)	16人
9	1期生 実践研修 6回目	三ツ木紀英(ARDA)	7月14日(木)	12人
10	1期生 実践研修 7回目	三ツ木紀英(ARDA)	7月26日(火)	15人
11	1期生 実践研修 8回目	三ツ木紀英(ARDA)	9月1日(木)	7人
12	2期生 基礎研修 1回目	三ツ木紀英(ARDA)	9月3日(土)	15人
13	2期生 基礎研修 2回目	三ツ木紀英(ARDA)	9月10日(土)	15人
14	1期生 アートカード研修 1回目	桑原和美(ARDA)	9月15日(木)	7人
15	2期生 実践研修 1回目	三ツ木紀英(ARDA)	9月29日(木)	15人
16	2期生 実践研修 2回目	当館嘱託員	10月5日(水)	7人
17	2期生 実践研修 3回目	三ツ木紀英(ARDA)	10月27日(木)	11人
18	2期生 実践研修 4回目	当館嘱託員	11月11日(金)	10人
19	2期生 実践研修 5回目	三ツ木紀英(ARDA)	11月24日(木)	13人
20	1,2期生 アートカード研修 2回目	桑原和美(ARDA)	12月8日(木)	10人
21	2期生 実践研修 6回目	当館嘱託員	12月15日(木)	11人
22	2期生 実践研修 7回目	三ツ木紀英(ARDA)	1月19日(木)	7人
23	2期生 実践研修 8回目	当館嘱託員	1月26日(木)	11人
24	2期生 実践研修 9回目	三ツ木紀英(ARDA)	2月16日(木)	13人
25	合同研修	三ツ木紀英(ARDA)	3月9日(木)	19人
26	2期生 実践研修 10回目	当館嘱託員	3月23日(木)	9人
27	2期生 実践研修 11回目	三ツ木紀英(ARDA)	3月30日(木)	14人
計				311人

他市小学生を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

2プログラムを実施。178人 ひらびあーつま〜れ(対話による美術鑑賞ボランティア)

NO.	学校名	講師名	事前授業	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	箱根湯本小学校 仙石原小学校 箱根の森小学校	ひらびあーつま〜れ 14名	なし	6月8日(水)	5年	1クラス	70人
2	横浜市 青葉台小学校 団体来館	ひらびあーつま〜れ 15名	なし	2月22日(水)	5年	3クラス	108人
計							178人

市内小学生を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

6プログラムを実施。413人 ひらびあーつま〜れ(対話による美術鑑賞ボランティア)

NO.	学校名	講師名	事前授業	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	八幡小学校	ひらびあーつま〜れ 16名	10月14日(金)	10月21日(金)	5年	2クラス	46人
2	土屋小学校	ひらびあーつま〜れ 6名	11月4日(金)	11月9日(水)	5年	1クラス	17人
3	崇善小学校	ひらびあーつま〜れ 13名	なし	11月17日(木)	5年	3クラス	88人
4	大原小学校	ひらびあーつま〜れ 18名	12月13日(火)	12月21日(水)	5年	2クラス	46人
5	花水小学校	ひらびあーつま〜れ 12名	1月11日(水) 1月17日(火)	1月20日(金) 1月24日(火)	6年	5クラス	157人
6	松ヶ丘小学校	ひらびあーつま〜れ 13名	なし	2月15日(水)	6年	2クラス	59人
計							413人

夏休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

6講座を実施。95人 ひらびあーつま〜れ(対話による美術鑑賞ボランティア)

NO.	鑑賞会名	講師名	実施日	参加者数
1	絵を見て発見! おしゃべり美術館 1回目	三ツ木紀英(ARDA)、 ひらびあーつま〜れ 13名	7月26日(火)	22人
2	絵を見て発見! おしゃべり美術館 2回目	ひらびあーつま〜れ 14名	8月2日(火)	21人
3	絵を見て発見! おしゃべり美術館 3回目	ひらびあーつま〜れ 9名	8月9日(火)	15人
4	絵を見て発見! おしゃべり美術館 4回目	ひらびあーつま〜れ 9名	8月16日(火)	15人
5	絵を見て発見! おしゃべり美術館 5回目	ひらびあーつま〜れ 7名	8月23日(火)	20人
6	絵を見て発見! おしゃべり美術館 6回目	ひらびあーつま〜れ 6名	8月30日(火)	2人
計				95人

春休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

4 講座を実施。30人 ひらびあーつま〜れ（対話による美術鑑賞ボランティア）

NO.	鑑賞会名	講師名	実施日	参加者数
1	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 1 回目	ひらびあーつま〜れ 7 名	3月7日(火)	6 人
2	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 2 回目	ひらびあーつま〜れ 9 名	3月14日(火)	1 人
3	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 3 回目	ひらびあーつま〜れ 9 名	3月28日(火)	14 人
4	絵を見て発見！ 春のおしゃべり美術館 4 回目	ひらびあーつま〜れ 11 名	4月4日(火)	9 人
計				30 人

その他の事業

(1) 事業

七夕飾り 6月25日(土)～7月11日(月)

主催	平塚市美術館
内容	平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビールづくり」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々により飾りつけられ、来館者の目を楽しませていました。 展示指導 依田梓（ワークショップ講師、美術家）
場所	テーマホール
日数	17日
入場者数	自由観覧



こども年賀状とおとな絵手紙展 1月5日(木)～1月9日(月・祝)

主催	平塚市美術館
内容	美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度の開催から数えて、今回で8回目となりました。
場所	市民アートギャラリー-B室
日数	5日間
作品総数	124点
入場者数	227人



第39回 平塚市展 2月12日(日)~2月26日(日)

主催	平塚市展委員会
協力	平塚市教育委員会・平塚書道協会・平塚美術家協会・平塚写真連盟
後援	平塚市・平塚市文化連盟・平塚商工会議所・SCN 湘南ケーブルネットワーク(株)・FM 湘南ナバサ・(公財)平塚市まちづくり財団
場所	展示室、市民アートギャラリー
日数	13日
入場者数	4,969人



ミュージアムコンサート 2月18日(土)

主催	平塚市美術館
内容	国内外で高い評価を得ている沼田園子氏(ヴァイオリン)と蓼沼明美氏(ピアノ)からなる「フィン・デュオ」が、ヴァイオリンソナタを演奏しました。
場所	テーマホール
参加者数	198人



(2) 団体向け研修・体験プログラム

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	4月23日(土)	リン版画工房	「萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち」 見学とレクチャー	18人
2	学習	4月28日(木)	ピバヴィレッジ 湘南茅ヶ崎	「華麗なるガラス工芸の世界」見学とレクチャー	11人
3	学習	5月19日(木)	平塚市立須賀公民館	「華麗なるガラス工芸の世界」 「萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち」 見学とレクチャー	33人
4	学習	5月24日(火)	平塚 MAC	「華麗なるガラス工芸の世界」 「萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち」 見学とレクチャー	17人
5	学習	5月26日(木)	平塚市立大神公民館	「華麗なるガラス工芸の世界」見学とレクチャー	20人
6	学習	5月27日(金)	藤沢市六会公民館	「華麗なるガラス工芸の世界」見学とレクチャー	37人
7	学習	6月7日(火)	平塚市立神田公民館	「華麗なるガラス工芸の世界」見学とレクチャー	10人
8	学習	6月10日(金)	鎌倉彫白日会	「華麗なるガラス工芸の世界」見学とレクチャー	28人
9	学習	6月12日(日)	学習院大学	「萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち」 見学とレクチャー	11人
10	学習	6月14日(火)	小規模多機能型 居住介護施設はるかぜ	「華麗なるガラス工芸の世界」見学とレクチャー	11人
11	学習	7月7日(木)	佐倉商工会議所女性会	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	29人
12	学習	7月27日(水)	朝日ねんどの会	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	9人
13	学習	7月28日(木)	伊勢原市小学校 教育研究会	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	15人
14	学習	8月3日(水)	平塚市小学校 教育研究会 図画工作部会	「トリック トリック ハッ!と トリック」 「田澤茂と石井礼子」見学とレクチャー	34人
15	学習	8月3日(水)	平塚市立岡崎公民館	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	17人
16	学習	8月4日(木)	平塚市東ブロック公民館	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	88人
17	学習	8月5日(金)	平塚市立大神公民館	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	21人
18	学習	8月7日(日)	平塚市西ブロック公民館	「トリック トリック ハッ!と トリック」 見学とレクチャー	41人
19	学習	10月18日(火)	平塚市立大神公民館	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治」 「創画会ゆかりの画家たち」見学とレクチャー	12人
20	学習	10月21日(金)	平塚市 資源回収協同組合	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治」 「創画会ゆかりの画家たち」見学とレクチャー	24人
21	学習	10月28日(金)	平塚市松原婦人会	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治」 見学とレクチャー	24人
22	学習	11月18日(金)	東海大学文学部	「香月泰男と丸木位里、俊そして川田喜久治」 見学とレクチャー	15人
23	学習	3月30日(木)	平塚 MAC	「近代日本画名品」見学とレクチャー	20人
24	学習	3月30日(木)	宮台地蔵保存会	「近代日本画名品」見学とレクチャー	17人
計					562人

(3) 博物館実習および職場体験受け入れ

博物館実習の受け入れ

当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、美術を専攻する博物館学実習生を、11大学から11名を受け入れ、平成28年6月から12月まで実習を行いました。

職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することによって、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択につながるよう、職場体験の受け入れを行いました。

No	実施日	参加者	人数	内容
1	11月11日(金)	金目中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
2	11月25日(金)	神明中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
3	1月27日(金)	江陽中学校	2人	館の概要講義及び業務体験
4	2月1日(水)	大磯高校	28人	館の概要講義及び施設見学
計			38人	

(4) 定例会議

美術館協議会

委員(敬称略) 8名

水沢勉(学識経験者)、河野孝博(学識経験者)、落合浩一(学校教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、宮澤達寛(学校教育関係者)、加藤宏(社会教育関係者)、後藤真由美(社会教育関係者)、岩城孝子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成28年10月19日(水)

平成28年度上半期事業報告及び下半期の事業計画について

第2回 平成29年3月15日(水)

平成28年度下半期事業報告、平成29年度事業計画(案)について

美術品選定評価委員会

開催日：平成29年2月3日(金)

委員(敬称略) 5名

猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、原田光(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)

(5) その他

企画展「開館25周年記念 不思議なアート トリック トリック ハッ!とトリック」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施しました。延長時間中の観覧者数は943人、親子割引の利用者は11,316人でした。

施設利用者等の統計

(1) 展覧会

観覧者数

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	2,304人	-	2,304人
5月	26日	7,501人	-	7,501人
6月	26日	5,040人	-	5,040人
7月	27日	21,427人	-	21,427人
8月	26日	34,548人	-	34,548人
9月	26日	1,915人	-	1,915人
10月	26日	8,387人	-	8,387人
11月	26日	9,929人	-	9,929人
12月	24日	-	1,687人	1,687人
1月	24日	-	2,964人	2,964人
2月	24日	-	2,280人	2,280人
3月	27日	-	4,932人	4,932人
4月	8日	-	1,598人	1,598人
計	316日	91,051人	13,461人	104,512人

年度をまたぐ展覧会の観覧者数については、前年度に含むものとする。

学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	8校	527人	37人	4校	184人	13人
	市外	10校	418人	28人	4校	328人	21人
中学校	市内	21校	487人	54人	0校	0人	0人
	市外	50校	782人	76人	2校	18人	2人
高等学校		12校	176人	68人	2校	17人	4人
計		101校	2,390人	263人	12校	547人	40人

(2) 貸出施設

市民アートギャラリー

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	24日	4団体	2,992人
5月	30日	7団体	4,664人
6月	24日	7団体	4,673人
7月	18日	3団体	3,276人
8月	30日	6団体	5,667人
9月	23日	6団体	4,193人
10月	26日	5団体	3,782人
11月	30日	7団体	9,033人
12月	12日	3団体	2,880人
1月	27日	8団体	5,588人
2月	28日	2団体	3,567人
3月	24日	8団体	4,733人
計	296日	66団体	55,048人

ミュージアムホール

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	9日	9団体	454人
5月	-	-	-
6月	2日	2団体	260人
7月	2日	2団体	41人
8月	-	-	-
9月	4日	4団体	377人
10月	-	-	-
11月	6日	6団体	455人
12月	12日	12団体	1,040人
1月	4日	4団体	164人
2月	7日	7団体	486人
3月	15日	15団体	619人
計	61日	61団体	3,896人

5月、8月、10月は、展覧会関連映像の上映のため、貸出実績はありません。

アトリエ

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	1日	1団体	50人
5月	0日	0団体	0人
6月	0日	0団体	0人
7月	0日	0団体	0人
8月	0日	0団体	0人
9月	1日	1団体	40人
10月	6日	6団体	170人
11月	0日	0団体	0人
12月	0日	0団体	0人
1月	9日	2団体	228人
2月	3日	3団体	44人
3月	1日	1団体	4人
計	21日	14団体	536人

施設の管理

(1) 防災訓練

実施日時

6月8日(水) 9:00～9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム（緊急地震速報）配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応（通報・初期消火・避難誘導）
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定

全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA 控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。

設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。